

はなみずきのまちだより

■編集・発行／社会福祉法人名古屋市千種区社会福祉協議会

■ホームページ／<http://www.chikusa-shakyo.jp/>

ちよいボラ講座はじまってます!!

千種区社協 PRESENTS

(共催: 千種区ボランティア連絡協議会)

千種区社会福祉協議会では、地域の担い手発掘・養成に力を入れています。
5月には点訳ボランティア養成講座、6月には調理ボランティア養成講座、7月にはサロン
担い手養成講座(サロンやろまい講座)を実施しました。
受講を修了された皆さんへは、区内のボランティアグループへの加入をお勧めしたり、
個人ボランティアでの活動先をご紹介させていただいています。

視覚障がい者のためのガイドボラ養成講座

9月7・14・21・28日(10:00~12:00)

毎週木曜日 全4回

参加者募集中

応募締切: 8月23日(水) 詳細はお問い合わせください
協力: 視覚障がい者ガイドボランティア「青空」



5月
点訳ボランティア
養成講座

予告 傾聴ボランティア養成講座

10月4・11日(AM) 18日(PM)

毎週水曜日 別途施設実習1回 全4回

講師: NPO法人コアカウンセリング支援協会 宮崎勝博 様
協力: 傾聴ボランティア「ひまわり」
※参加方法については広報なごや千種区版9月号に掲載します



6月
調理ボランティア
養成講座



目次

ちよいボラ講座はじまってます!!	P.1	第3次地域福祉活動計画中間報告	P.4
日本マンション学会に参加しました	P.2	シリーズ 千種区の2025	P.5
平成28年度 事業報告・決算報告	P.3	千種区ボラ連を知ろう／善意の小箱	P.6
サロンを広げる講演会を実施しました	P.4		



千種区から情報発信！ 日本マンション学会に参加しました。

「マンションにおいて認知症とどう付き合うのか」をシンポジウムのメインテーマに、4月22日(土)・23日(日)の2日にわたり、一般社団法人日本マンション学会の学術大会が椋山女学園大学星ヶ丘キャンパスを会場に開催され、テレビニュースで取り上げられるなど注目されました。

私たち千種区社会福祉協議会は、「マンションにおける人の高齢化による問題と対処法と課題」をテーマとした分科会に参加し、住民の皆様等で組織する地域福祉活動計画推進委員会のメンバーと一緒に取り組んだ実践活動を情報発信しました。

現在、「2つの老い」として建物の高経年化と区分所有者・居住者の高齢化の問題が提起されています。このうち、人の高齢化の問題については、日本のマンション全体で平等に進行しているわけではありませんが永住意識が高いマンションでは高齢化の進行はより進む、と考えられています。



運営面の問題(例)

- 役員のなり手が減る
- 認知症の人の意思確認

維持面の問題(例)

- バリアフリー工事の必要性
- 大規模修繕時の専有部分への立入が拒否される事例も

生活面の問題(例)

- 孤独死
- 認知症の人の徘徊・戸別訪問

メインシンポジウムでは、学識者、専門家や管理組合等実務者が登壇し、多角的な視点で議論され、「マンションだからこそ、できる取り組みも多いのではないか」などの意見がありました。

(千種区社会福祉協議会の発表要旨)

2つの分譲マンションでの実践事例を報告し、高齢化が進むマンションにおける住民同士・近隣地域・専門職とのつながりづくりの重要性をお伝えしました。

マンション (仮称)	A	B
築年	築30年以上	築30年以上・建替え歴あり
総戸数	300戸以上	300戸以上
コミュニティ 関係組織等	管理組合、自治会、区政協力委員、民生委員など	専ら住宅管理会社がマンション運営を管理 入居者が集う機会はほぼない
目論見	住民主体の福祉活動を創出することで将来的に モデルケースとしての活用	支援の必要な方がサービスにつながるような住民 によるネットワークは形成できるのか検証
担当チーム	・ 活動計画推進委員（住民等） ・ コミュニティワーカー	・ 社協内の福祉専門職
結果	自治会を主体とするサロン活動が立ち上がった 「高齢者の生活アンケート」を実施*	住宅管理会社の協力により、集会室に入居者や近隣 住民の自主サロンが立ち上がり、緩やかなつながり が形成された

- 75歳以上人口は都市部で急速に増加、その後も超高齢社会が長期にわたる見込みであり、早い段階で備えが必要。
- 他者との関わりが乏しい生活をおくる高齢期の世帯は、必要なサービスにつながりにくく、孤独死という形で現れる可能性がある。
- 高齢化の備えは、バリアフリー化や緊急通報装置などハード面だけではなく、入居者同士の交流や認知症講習会の開催などソフト面も重要。
- マンションごとで状況が異なることから、高齢化の状況把握については管理組合や自治会が果たす役割が大きい。
- 管理組合や自治会は、日頃から福祉の専門職との関わりを意識することも大切。
- コミュニティ関係組織がないマンションでは、住宅管理会社が集会室などの構造物や立地の強みを活かし、近隣地域など外部との関わりを持つ方法が考えられる。その場合、外部者の侵入を制限するセキュリティ等の問題をどう扱うかも検討しなければならない。

※「高齢者の生活アンケート」

Aマンション自治会、区役所福祉課、保健所保健予防課、東部・西部いきいき支援センター、社会福祉協議会計画推進委員・職員及び大学生ボランティアの地域福祉活動で、入居する高齢者の一部に訪問式調査を実施し、結果をアンケート回答者等の皆様にフィードバックするとともに、区に設置される地域包括ケア推進会議へ情報提供した。

- 4月 「はなみずきのまちだより」発行 賛助会員募集
 6月 地域福祉推進協議会役員連絡会
 (地域支えあい事業の概要説明)
 ふれあい給食サービス事業研修会
 7月 「はなみずきのまちだより」発行
 ボランティア・NPO応援助成
 サロン担い手養成講座
 9月 ちくさサロン活動者ミーティング



- 10月 「はなみずきのまちだより」発行
 千種区民まつり参加
 赤い羽根共同募金募集(～12月)
 ふくしPRキャンペーンin千種図書館2016
 11月 寝具クリーニングサービス事業
 12月 歳末たすけあい募金募集
 サンタクロース派遣事業
 1月 第1回千種区生活支援連絡会
 2月 「はなみずきのまちだより」発行
 第2回千種区生活支援連絡会
 3月 地域福祉推進協議会研修会
 地域福祉推進協議会事業・ふれあい給食サービス事業事務説明会



年間

- ・第3次地域福祉活動計画
- ・地域福祉推進協議会の支援
- ・ふれあい給食サービス事業の支援
- ・ボランティアセンター事業
(相談件数240件、登録人数5,073名)
- ・広報なごや千種区版点訳・音訳支援
- ・福祉体験学習への支援
(実施件数22件、延べ参加人数1,707名)
- ・生活福祉資金貸付事業
- ・千種区在宅サービスセンターの運営
(貸出件数1,392件、利用延人数17,342名)
- ・高齢者はつらつ長寿推進事業
(参加者延人数6,916名)
- ・デイサービス事業の運営
(お客様延人数6,729名)
- ・共同募金配分金助成事業
(77件、742万円)
- ・千種児童館・都福祉会館の管理・運営
- ・いこいの家事業

○千種区西部いきいき支援センター事業(年間)

- ①総合相談・権利擁護相談件数 856件
- ②包括的・継続的マネジメント 567件
- ③介護予防支援、介護予防ケアマネジメント
お客様延人数 10,122名
- ④見守り支援事業活動件数
電話・面接450件 本人宅訪問延べ 111件
- ⑤ケアマネサロン 6回開催
延べ参加人数 284名
- ⑥ケース検討・医療講座(医療と介護の連携)
6回開催 延べ参加人数 95名
- ⑦認知症高齢者を介護する家族支援事業
- ⑧認知症初期集中支援チームの活動

○千種区介護保険事業所(年間)

- ①訪問介護事業：お客様延人数 4,903名
延サービス提供時間 45,044時間
- ②居宅介護支援事業：お客様延人数 3,765名

千種区社会福祉協議会

平成28年度 決算のご報告



会費収入	5,480
寄付金収入	892
補助金収入	60,073
受託金収入	88,148
事業収入	1,642
負担金収入	2,368
介護保険収入	64,626
借入金補助金収入	9,241
雑収入	549
受取利息収入	1,868
前期繰越金	35,190
収入合計	270,077



人件費支出	138,110
事業費支出	32,330
事務費支出	22,644
助成金支出	15,397
負担金支出	5,967
借入金償還支出	9,241
積立資産支出	3,892
その他	217
次期繰越金	42,279
支出合計	270,077

「サロンを拡げる講演会『地域のつながりを通じた健康づくり』」を行ないました!

4月25日、千種区役所講堂において、竹田徳則先生(星城大学リハビリテーション学部)にご講演いただきました。本講演会にはサロン運営者や区民の方など、総計74名の方にご参加いただきました。

竹田先生は武豊町が健康長寿・介護予防のため町全体で取り組む「武豊プロジェクト」に継続的に関わられてきた方で、研究の成果を基にサロンに参加しそこで楽しく過ごすことで、「本人の健康感の向上」、「うつ病発症率の低下」、「要介護状態発生率の低下」などの結果がみられたことをご報告いただきました。

講演は非常に分かりやすく先生のお話也非常に楽しいもので、参加者からは「わかりやすかった」、「面白く話が聞けた」などの感想をいただきました。



千種区社会福祉協議会 第3次地域福祉活動計画 中間報告

地域住民や福祉活動を行う団体等とつくる地域福祉活動計画は平成26年度から5年間を計画期間としています。

平成28年度には計画の進捗管理を担当する住民等委員の皆様で振り返り等を行いました。

区内にお住いの皆様、機関・団体など、人との「つながり」を通じて、新たな活動がたくさん生まれました。

今後は、よりいっそう「ひろがり」ある取り組みに高めていくよう努めてまいります。

つながる・ひろがる・かよいあう ～誰もが安心して生活できる千種区のために～

●地域の個別支援ネットワークをつくろう

自治会と住民懇談会の実施



特定の地域に計画委員やコミュニティワーカーが積極関与するモデル的活動。自治会のサロン開設が一つのきっかけとなり、区内サロン活動の活性化に向けた様々な取り組みを実施。

サロン主催者の集い開催



●福祉活動に出会う場や機会をつくろう

●団体同士の連携(協働)に向けた提案をしよう

ボランティア・NPO交流会の開催



ボランティア団体やNPOを対象に、複数の団体や機関が連携した活動を行うことで、活躍のフィールドが広がった事例などの講演会とグループワークを実施。

区内にあるお互いの団体を知り、協働できる可能性を皆で描きました。

●「役に立った」と言われる情報発信をしよう

広報紙「はなみずきのまちだより」の体裁をリニューアル。あいち造形デザイン専門学校学生のマンガを活用するなどし、読み手が関心ある内容にたどり着きやすいよう「見せ方」を工夫。



●社協についてもっと知ってもらおう



「エンディングノート」「60代からのマネープランとライフプラン」講座を開催。

これからセカンドライフを迎えようとする方に社協・ボランティア活動等をPR。

ふくしPRキャンペーンの実施



区内公共施設にてパネル掲出等を行い、福祉活動やボランティア団体の活動を広く周知。ボランティア団体・千種図書館・福祉会館など、社協が提案を投げかけることで多様な組織のコラボ企画が誕生。

シリーズ 千種区の2025



平成27年度の国勢調査の結果が出されました。名古屋市の65歳以上の人口は約545,000人、高齢化率は24.2%となっています。千種区を見ると、65歳以上人口は約37,000人、高齢化率は23.7%となっています。平成22年当時の調査では、千種区の65歳以上人口は約33,000人、高齢化率は21.1%なので、2.6ポイント増加となっております。中でも75歳以上の人口は増加し続けることが予想され、団塊の世代が75歳以上となる2025年(平成37年)を目途に、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを続けることができるように、様々な取り組みがなされています。

その中でも、健康づくりで注目されている、『一般介護予防事業』に関する取り組みを一部ご紹介します。



高齢者の方が介護予防の活動に取り組んでいただけるよう、介護予防や認知症予防の知識を学ぶ教室を開催したり、身近な場所で気軽に集まり、楽しくふれあいを深めて交流する事ができる通いの場を提供しています。教室などの開催日時は、それぞれのお問い合わせ先へお尋ね下さい。

いきいき教室

認知症予防や運動機能、栄養、口腔等に関する介護予防教室や講演会などを開催しています。

お問い合わせ先

千種保健所 ☎753-1982

認知症予防教室

各区の福祉会館で、認知症予防のための運動を行うほか、認知症予防に役立つ知識や活動について学ぶ教室を開催しています。

お問い合わせ先

都福祉会館 ☎711-1483

高齢者はつつ長寿推進事業

コミュニティセンターなどの身近な場所で、レクリエーションなどを通じて、生きがいづくり、仲間づくりのできるプログラムを行っています。

お問い合わせ先

千種区社会福祉協議会

高齢者サロン

高齢者の方が、身近な場所で気軽に集まり、楽しくふれあいを深めて交流できる場所です。地域の住民の方などが高齢者サロンを開催しています。

お問い合わせ先

千種区社会福祉協議会

高齢者の健康・福祉・介護のご相談は・・・

東部いきいき支援センター

担当学区

大和、上野、東山、星ヶ丘、自由ヶ丘、富士見台、宮根、千代田橋

電話 781-8343

FAX 781-8346

桜が丘11-1 ソフィアビル1階

東部いきいき支援センター分室

宮根台1-4-24 山内ビル1階

電話 726-8944 FAX 726-8966



西部いきいき支援センター

担当学区

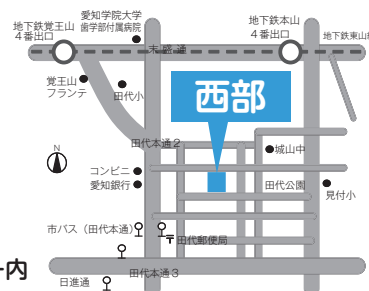
千種、千石、内山、高見、春岡、田代、見付

電話 763-1530

FAX 763-1547

西崎町2-4-1

千種区在宅サービスセンター内





千種区ボラ連を 知ろう!

千種区ボランティア連絡協議会(ボラ連)では、登録するボランティア団体の活動を知っていただく場として「ボラカフェ」を開いています。どなたでもお気軽にご参加いただけるよう、コーヒー・お茶菓子を用意してお待ちしています。ぜひ、お立ち寄りください。

昔なつかしい紙芝居 きらり

昔懐かしい紙芝居を皆さまで支援しましょう

第6回

ボラカフェ

日時：平成29年8月1日(火)
13:30~

場所：千種区社会福祉協議会
研修室



拍子木の音を合図に自転車に載せた紙芝居を路地や空地で見た思い出を持つ人はそれなりの年齢を重ねた方々ですよ。

私達グループきらはそんな懐かしい紙芝居を擬音を工夫したり、登場人物を何人かで演じ、お芝居らしくすることで、よりわかりやすく、楽しんでいただけるようにと集まった4人組です。

結成から2年が過ぎ40か所でのステージは、途中で歌や体操、おしゃべりを入れて皆様と一緒に楽しい時間を過ごしています。

今後レパートリーを増やしさらに活動を続けていきたいと思っています。

ウィズコープ録音グループ

第7回

ボラカフェ

日時：平成29年10月3日(火)
13:30~

場所：千種区社会福祉協議会
研修室



「ウィズコープ」ってなあに?...

コープあいち(生協)で発行している組合員向けの冊子です。私たちのグループは視覚障がいを持つ方へ、ウィズコープをCDに録音編集してお届けしています。

毎月、千種区社会福祉協議会の録音室でデジタル録音をパソコンで作成しています。

ウィズコープの内容は、文字だけでなく写真等で掲載されていますので、どう言葉で表して伝えられるかがとても難しいです。でも、利用者から「皆さんと同じ情報をくださいね」という声をお聞きした時に、はっと気が付きました。

メンバーは、アマチュア劇団の女優さん・朗読、傾聴ボランティア・広報なごや録音ボランティア・現役会社員などそれぞれの活動をしています。それを土台にわかりやすい言葉で届けていきたいと思っています。

「千種区社協ものがたり」No.13

サロンの救世主?



うちのサロンは最近大賑わいです!

スタッフさん大変そうだなあ



ボランティアしたいっていう男子学生を知ってるけど...

力仕事とか頼めそう!

ぜひ呼んでください



ちくさ大学イケメンコンテストグランプリと準グランプリの二人よ!!

どうも☆

キラ

よろしく♡



これじゃあ、お手伝いどころじゃないね...

いやあ大好評で大助かりです

(作) あいち造形デザイン専門学校 まんが科
渡辺 タチアナ さん

善意の小箱

「千種区の福祉に役立ててください」と善意の寄付をいただきました。

〈平成29年3月28日~平成29年6月22日〉

- 名古屋ヤクルト販売 株式会社 様
- Nagoya International Playgroup 様
- 千種区地域女性団体連絡協議会 様
- 以上3件

皆さまからいただいた寄付金等は千種区の地域福祉の推進に活用させていただきます。ありがとうございました。

社会福祉法人 名古屋市千種区社会福祉協議会 (千種区在宅サービスセンター内)

〒464-0825/名古屋市千種区西崎町二丁目4番地の1

● お問い合わせ先

TEL 【代表】 052-763-1531
【ボランティアセンター】 052-763-1536
【千種区西部いきいき支援センター】 052-763-1530
【千種区介護保険事業所】 052-763-7842
【デイサービス】 052-763-1331

FAX 052-763-1547

ホームページ



<http://www.chikusa-shakyo.jp>